

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に
(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2676回例会プログラム

[当年度=36回目; 当月=4週目]

2010年(平成22年) 5月24日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事

- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 副幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/31) ……クラブフォーラム

(環境保全委員会)

卓話 「ホテルのとびかう人里づくり」

講師 地区環境保全委員会

委員 高橋 豊彦 様

(豊橋 RC)

(紹介者 井元 良彦 会員)

- (6/7) ……卓話 「健康増進」

講師 ドラッグユタカ様

(紹介者 南 健 会員)

2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「北部タイ・チェンライ県における
“刈谷の森” 作り構想について」
講師 オイスカ東京本部国際協力部
大木 雅俊 様
(紹介者 加藤 真治 会員)

14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ゲ ス ト

オイスカ中部日本研修センター

組織担当ボランティア 稲村 渉一 様

出 席

会員総数 93名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 12名 出席率 86.21%
前々回 (5/10) の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 酒部正博会員がタイ バンコク スリウォン RC
でメーキャップをされバナーを頂いてきましたので
おまわしを致します。
2) 5月20日名古屋ゴルフ倶楽部和合コースで開催さ
れたゴルフ例会にて下谷敏朗会員が優勝されました。
尚、合わせて行なわれた堀正剛会員ホールインワン
コンペでは盛田豊一会員がベスグロで優勝されまし
た。
3) 5月19日刈谷市役所にて開催された第1回刈谷市
キャリア・スタート・ウィーク実行委員会に神野幹
事が出席しました。
4) 5月21日刈谷市産業振興センターにて開催された
平成22年度刈谷市観光協会通常総会に出席して参り
ました。
5) 5月23日開催された(社)刈谷青年会議所創立50周年
記念式典並びに謝恩会に出席して参りました。
6) 加藤真治会員にポール・ハリス・フェローの認定
証をお渡しをさせていただきます。

副 幹 事 報 告

1) 次年度会員名簿をつくりますので前年の原稿を回覧しますのでご訂正がございましたらご記入ください。

会 長 あ い さ つ

岡 本 巧



先週は色々な会に出席させていただきました。

まずは、イトーヨーカ堂（セブンアンドアイホールディングス）の総会に出席した際、伊藤名誉顧問が創立以来60年間ずっと「変化に対応を」と言い続け、希望を持って今日

に至ったと聞きました。

観光協会の総会では、会頭が内藤さんに、「何も観光のない刈谷をよくぞ作り、やりとげました」と言いました。それは、刈谷（郷土）を本当に愛することだと思いました。

そして、その会の挨拶で住田県議がサラリーマン川柳を用いて「70歳 おらが村では 青年部」と言われました。生涯若者であれと思いました。

次に昨日、自由民主党刈谷支部の総会で片山さつき氏の挨拶の中で「税」と言う字は音読みで「みつぎ」と言うことを教えてもらいました。職業奉仕をし税を納める事によって、本当の奉仕と教えてもらいました。

これも、ロータリークラブの会長をさせていただいた「お陰」と言うことがよく分かります。

後残りわずか役に立つため一生懸命頑張りますのでどうかよろしくお願い致します。

ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

刈谷ロータリープロジェクト 企画案 北部タイ チェンライ県における「刈谷の森」作り構想 財団法人オイスカ



■背景（森林減少と貧困）

近年、タイでは森林の減少が原因と考えられる災害が多く発生しているが、チェンライ県が位置するタイ北部においても、多くの被害が報告されている。チェンライ県では雨期の洪水、鉄砲水により果樹園などが

大きな被害を受けているほか、乾季には山火事によって広範囲の森が焼失している。気候は乾燥しており、森林伐採や農地開発によって森林の減少が続いている。一方、この地域には山岳民族が多く、タイの中でも経済的に貧困地域にある。かつてはタイ、ミャンマー、ラオスの三国が国境を接するゴールデン・トライアングルを中心に麻薬を精製するケシ栽培が盛んに行われていた地域

であるが、政府による取締りが進んだ結果、住民の多くは農業で生計を立てる様になった。しかし、その多くがとうもろこしなどの単一作物の一面栽培を行う為、山肌の木々は刈り取られて丸裸にされ、大雨による土砂崩れや土石流、洪水の被害、更に焼畑農業の延焼や火の不始末などによる乾季の山火事など、人間によって引き起こされる自然災害が頻発している。特に山火事による煙害は深刻であり、健康被害なども出ている。

また近年では、ラオスとの国境沿いを流れるメコン川では水位の低下が深刻化しており、農業用水の不足など甚大な被害が出ている。その原因については解明されていないが、上流の中国によるダム建設の影響が指摘されている一方、流域での森林減少も影響しているとの見方がある。

森林減少による乾季の水不足、雨期の土砂災害などが貧困と相まって深刻な問題となっており、植林活動や森林保全の為の地域住民への森林環境教育活動が急務となっている。

■活動目的

地域住民との協働による植林活動の実施を通して地域の森林を再生するとともに、啓発活動を通して自然環境と共生した発展について住民意識の向上を目指す。

■活動内容

期間：2010年～2014年（5年間）

場所：タイ北部 チェンライ県チェンコーン郡

面積：5年間総計 7 ha

実施内容：

①植林活動、及び管理作業

地域住民を中心に植林グループを結成し、チークを植林・管理（草刈・補植・防火帯整備等）

*チークはこの地域の気候風土に適しており、古くから木材加工の原材料として育成されてきたが、近年では短期的視点から過度な伐採が進みチーク林の破壊が著しい。そのチーク林を地域の財産林として再生し、公共財として育成・管理していく。

②住民啓発活動

教育施設を整備し、環境問題や植林活動に関する環境教育及び、有機農業の指導や実習、セミナー研修などを実施

③普及啓発活動

上記活動を通じた地域住民主体の環境保全活動の意義についてPR活動を実施し、他地域への普及を促進していく。

5月度刈谷 RC ゴルフコンペ

平成22年 5 月20日(休)

於：名古屋ゴルフ倶楽部・和合コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	下谷 敏朗	95	18	77
2 位	平野 和一	97	18	79
3 位	塚本 幸夫	91	10	81
B B	加藤 真治	104	10	94



堀正剛会員ホールインワンコンペ成績

平成22年 5 月20日(休)

於：名古屋ゴルフ倶楽部・和合コース

成績	氏名	G	H	N
優勝	盛田 豊一	86	14	72
2 位	大竹 憲治	96	23	73
3 位	神野 公秀	94	21	73
B B	關 淳之	105	21	84

